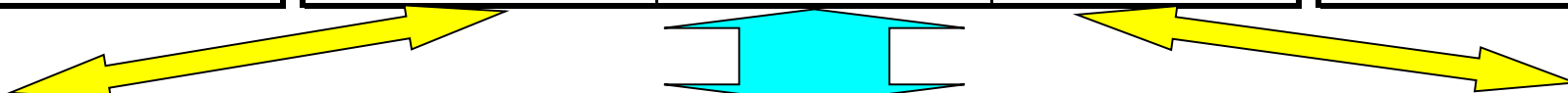


# 平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立明城小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>・平成28年度全国学力・学習状況調査の結果、国語Aでは、全国平均をやや下回る。(明城70, 尼崎70, 全国73)が、算数A, 算数・国語Bでは全国平均を、大きく下回っている。(算数A 明城70, 尼崎77, 全国78, 国語B 明城50, 尼崎55, 全国58, 算数B 明城39, 尼崎45, 全国47)</p> <p>国語においては知識(基礎)はある程度身につけているものの、活用力(応用)はあまり身につけていない。</p> <p>算数においては知識・活用力ともにあまり身につけていないとは言えない。</p>	<p>・子どもたちが中心となって活動する授業づくりをゴールとし、子どもたちが主体的、対話的で、深い学びができるような授業実践を推進し、さらなる学力向上を図る。【(1)アクティブラーニング講師招聘を活用】</p>	<p>○朝学(8:30~8:45)の充実</p> <p>○放課後学習(週2回)</p> <p>○明城漢字検定</p> <p>○学年まとめテスト(国算)と分析(CDTテスト)を行い、年度末に児童が自分の課題を見れるようにする。</p> <p>○各学年ごとに学期に1つ詩または古典を覚える。</p>	<p>○縦割り活動を中心に据えた明城独自の活動</p> <p>・縦割り清掃など</p> <p>○子どもと向き合う時間を増やす。</p> <p>・職員朝会を週1回にする。</p> <p>・研推と生指部会を同一にする。</p> <p>会議は原則として16:00以降開始, 1H以内とする。(2日前資料配付)</p> <p>○巡回相談を1学期に全クラスで実施し、それを元に講師招聘の研修会を行う。</p>	<p>○全国学力学習状況調査 学力調査</p> <p>・平均正答率(全国平均+1p以上)</p> <p>○明城漢字ドリル検定上級合格者 38人(H28年度目標35人, 実績23人)</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
<p>○夏季合同研修の実施 健全育成中学校区内での研修</p> <p>・生徒指導</p> <p>・教科間連携</p> <p>・特別支援教育</p>	<p>支援内容</p> <p>(1)アクティブ・ラーニング推進支援</p> <p>(2)先進校視察支援</p> <p>(3)授業補助支援</p> <p>(4)放課後等学習支援</p> <p>(5)学力定着支援</p> <p>(6)地域人材活用支援</p> <p>(7)その他</p>	<p>具体的内容</p> <p>○正解主義ではなく対話を通して考える授業(元尼崎市立小学校長 阿部壮一郎氏 6回)</p> <p>○ホワイトボード・ミーティング認定講師による、主体的・対話的で深い学びができるような授業の研修</p> <p>○ホワイトボード代</p> <p>○3, 4年生を対象として、児童が主体的に学ぶための補助的な役割を同室複数授業の中で行う。個別の支援・即時評価などきめ細かな指導を行い児童の学習に対する意欲を高めることで主体的・協同的な学習を推進する。</p> <p>○放課後学習2H×50回</p> <p>○明城漢字ドリル400冊</p> <p>○図書ボランティアによる読み聞かせの会</p>	<p>○学力向上アクションプランの明示</p> <p>○オープンスクールにおいて保護者対象の子育て学習会開催(5/24, 6/9, 7/8, 10/27, 1/17, 2/14)</p> <p>○図書ボランティア(読み聞かせ)の活用</p> <p>○学校評議委員会開催</p> <p>○交通安全感謝の会</p> <p>○保護者アンケート(7月, 2月)</p> <p>○家庭学習(15分×○学年)</p>